



平成 21 年 4 月 10 日

各 位

会社名 株式会社ベスト電器
 代表者名 代表取締役社長 濱 田 孝
 (コード番号 8175 東証第1部、福証)
 問合せ先 執行役員総務部長 森 良 章
 (TEL. 092 - 643 - 6828)

業績予想の修正ならびに特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 1 月 19 日に公表した平成 21 年 2 月期（平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）の通期業績予想（連結・個別）を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 連結の通期業績予想数値の修正（平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	370,000	300	350	500	5.55
今回修正予想 (B)	371,900	800	940	3,010	34.28
増減額 (B - A)	1,900	1,100	1,290	3,510	—
増減率 (%)	0.5	—	—	—	—
前期実績 (平成 20 年 2 月期)	413,530	508	361	5,640	70.13

(2) 個別の通期業績予想数値の修正（平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	330,000	350	400	300	3.33
今回修正予想 (B)	322,200	20	570	4,020	45.78
増減額 (B - A)	7,800	330	170	4,320	—
増減率 (%)	2.4	94.3	42.5	—	—
前期実績 (平成 20 年 2 月期)	357,038	1,674	2,186	4,845	60.25

2. 修正の理由

米国発の世界的な金融危機の影響を受け、昨年 10 月以降急速に景気は後退し、個人消費の冷え込みは予想以上でありました。不振に終わった歳末商戦以降も薄型テレビ、DVD、デジタルカメラ等のデジタル家電は更なる競合激化による単価ダウンにより売上が伸び悩みました。このような背景の中、期末のグループ全体での売上及び販促強化策による営業強化に取り組みましたが既存店の売上高が前年を下回り、当期の連結売上高は前回予想とほぼ同等の水準となったものの、個別売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましても、予想を上回る売上高の減少や閉鎖までの不採算店の業績、土地の値下がり、株式市場の低迷による保有有価証券等の減損処理及び不採算子会社の整理等によるのれんの一括償却等により連結業績の売上高と個別業績の経常利益を除き、前回予想を下回る見通しとなりましたので業績予想の修正をいたします。

※上記の予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

3. 特別損失の計上について

個別および連結において発生しました特別損失の概要について、以下のとおりお知らせいたします。

(1) 減損損失

当社および連結子会社は、財務体質健全化のため、減損の兆候が認められた一部の収益悪化店舗および翌期閉鎖予定店舗の全部または一部の資産等の評価額を減額し、平成21年2月期の連結財務諸表および個別財務諸表において特別損失として計上する見込みであります。

(単位：百万円)

	上期(H20/3-20/8月)	下期(H20/9-21/2月)	通期(H20/3-21/2月)
連結	200	1,114	1,315
個別	145	1,050	1,195

(2) 投資有価証券評価損

当社は、昨今の株式相場の下落により、保有上場有価証券の減損処理に関する従来の方針に従い、時価が簿価に比べ30%以上下落した全ての銘柄を減損処理し、平成21年2月期の連結財務諸表および個別財務諸表において特別損失として計上する見込みであります。

(単位：百万円)

	上期(H20/3-20/8月)	下期(H20/9-21/2月)	通期(H20/3-21/2月)
連結	48	1,031	1,080
個別	48	1,031	1,080

(3) 関係会社株式評価損

当社は、実質価額が低下している当社保有の関係会社株式（市場価格のない株式）について、実質価額の回復可能性を慎重に検討のうえ、関係会社株式を減損処理し、平成21年2月期の個別財務諸表において特別損失として計上する見込みであります。

(単位：百万円)

	上期(H20/3-20/8月)	下期(H20/9-21/2月)	通期(H20/3-21/2月)
個別	—	2,643	2,643

(4) のれん償却額

収益力が低下している連結子会社ののれんについて、回収可能性を慎重に検討のうえ、財務体質の健全化のため一時償却し、平成21年2月期の連結財務諸表において特別損失として計上する見込みであります。

(単位：百万円)

	上期(H20/3-20/8月)	下期(H20/9-21/2月)	通期(H20/3-21/2月)
連結	—	884	884

以 上